

令和6年度

藍住中学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

どのように社会・世界と関わっていくのかを考え、よりよい人生を送るために、理解していること・できることを増やし、これらを活用して課題を解決していく力の育成。

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員	委員	校長	三木健司
戸出 剛	教頭	佐藤美幸	安友孝宣
	学年主任	青木武士	阿部桂子 小泉美和

校長

三木 健司

【小中連携または中高連携における共通の取組】

ICTの効果的な活用と話し合い活動の充実により、児童・生徒の学力向上を図る。

【各校における実行プランの取組状況の把握について】

管理職による授業参観や教員からの報告等、様々な機会を捉えて取組状況を把握する。

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基礎的基本的な知識・技能の習得のため、課題に真面目に取り組む生徒が多い。 ●入学時から学力に二極化が見られ、全体として読解力に課題がある。	・授業で学習した内容を概ね理解することができる。 ・基礎的基本的な知識・技能を確実に身につけ、定着させることができる。	・新しい取組を授業に取り入れて公開し、授業改善を行い、タブレットの効果的な活用方法等について研修を行い、個別最適かつ協働的な学びが一体的に充実した授業を展開する。 ・単元の終了後に小テストを行うなど、スモールステップで復習させ、知識・技能を確実に習得させる。	・教員のICT活用事例を校内研修で共有し、全教員が有効活用できるように取り組む。 ・単元ごとに小テストやプリントを行った後の間違え直しなどをきちんとさせる。	・校内研修を行い、多くの教員が生徒にタブレットを使用させる頻度が増えた。 ・プリントは一度やって終わりになることが多かったように思える。	・タブレット使用がより有効になるように指導場面や教職員のICT活用スキルを上げていく。 ・タブレット使用が学力向上につながるような授業改善。

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○学んだ知識・技能を活用して課題を解決しようとする意欲がある生徒が多い。 ●根拠や理由を考えて判断したり、表現したりすることが苦手な生徒が多い。	・文章、図、表の内容を理解して、知識・技能を活用して、正しく判断することができる。 ・授業で学んだことをもとに、自分の意見を根拠や理由を考えて表現することができる。	・学力向上確認プリント、ステップアップテスト、全国学力調査の問題を活用して、判断力を培う。 ・根拠や理由をわかりやすく表現する方法を指導し、定期テスト等で表現させ、自信を持たせる。 ・考えたり、意見を言えたりする、話し合い活動を多く取り入れる。	・ステップアップテストと全国学力状況調査の結果を分析し、より生徒の実態に沿った方法で指導し、テストにもそのような問題を出題する。	・思考力・判断力を要する問題をより多く出題することができた。 ・学級で話し合い活動を行い、学校全体でも学級委員や1・2年生全員で話し合う活動ができた。	・学級での話し合い活動を継続させ、それぞれの教科でも取り入れ、考えたり意見を言えたりする機会を増やす。

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ほとんどの生徒が落ち着いて真面目な態度で授業に取り組むことができている。 ●家庭でゲームやスマホをする時間が長く、家庭学習が定着していない生徒が少なくない。	・毎月目標を設定し、振り返りを行うことで、自己肯定感や自己有用感を高めようとする。 ・毎日の自主勉強ノートや宿題を 学力向上を目指して取り組もうとする。	・生徒の学習活動に対して全教員がポジティブな行動支援(SWPBS)を継続し、学習意欲を高めようとする。 ・自主勉強ノートや課題の提出物を確認して、学習がより充実したものになるよう個別の助言を具体的に言う。	・前向きな言葉がけから自信を持たせ、少しずつ授業中に発表する生徒や意見を言える生徒を増やして行く。 ・提出物をやるだけになってしまわないよう助言を続ける。	・ポジティブな声かけが多くなり、自信を持って意見を言えるようになった生徒が少しずつ増えてきた。 ・きちんとチェックを行い、個々に助言することができた。	・ポジティブ行動支援を継続させるが、マトリクスを少し改訂し、より過ごしやすい学校になるようにする。 ・学習する習慣が身につくような手立てを考える。

令和6年度 学力向上ロードマップ



